

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【公表番号】特表 2013-541489 (P2013-541489A)

【公表日】平成 25 年 11 月 14 日 (2013.11.14)

【年通号数】公開・登録公報 2013-062

【出願番号】特願 2013-529090 (P2013-529090)

【国際特許分類】

C 0 1 B 31/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 31/02 1 0 1 F

C 0 8 K 3/04

C 0 8 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 21 日 (2014.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結晶性カーボンナノ構造体および／または結晶性カーボンナノ構造体のネットワークを製造するための方法であって、

(i) 平均粒径 1 ～ 1 0 0 n m を有する金属ナノ粒子を含有する両連続マイクロエマルションを供給し、前記平均粒径からの粒径の偏差が 1 0 % 未満であることと、

(i i) 前記両連続マイクロエマルションを基材に接触させることと、

(i i i) 前記金属ナノ粒子およびガス状カーボン源を化学蒸着に暴露することによってカーボンナノ構造体および／またはカーボンナノ構造体のネットワークを形成することと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記両連続マイクロエマルションが水相に対して計算された少なくとも 1 5 m M の金属ナノ粒子を含有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の方法によって取得可能な、化学的に相互連結した結晶性カーボンナノ構造体ネットワーク。

【請求項 4】

平均径 1 ～ 1 0 0 n m を有する金属ナノ粒子が前記ネットワーク中に埋め込まれている、請求項 3 に記載のネットワーク。

【請求項 5】

カーボンナノチューブネットワークである、請求項 3 から 4 のいずれか一項に記載のネットワーク。

【請求項 6】

平均粒径 1 ～ 1 0 0 n m を有する金属ナノ粒子を含有する両連続マイクロエマルションであって、平均粒径からの粒径偏差が 1 0 % 未満である、両連続マイクロエマルション。

【請求項 7】

少なくとも 15 mM の金属ナノ粒子を含有する、請求項 6 に記載の両連続マイクロエマルジョン。

【請求項 8】

カーボンナノ構造体、好ましくは、カーボンナノチューブを製造するための、請求項 6 または 7 に記載の両連続マイクロエマルジョンの使用。